

# 早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 10月分

## 【10月の概要】

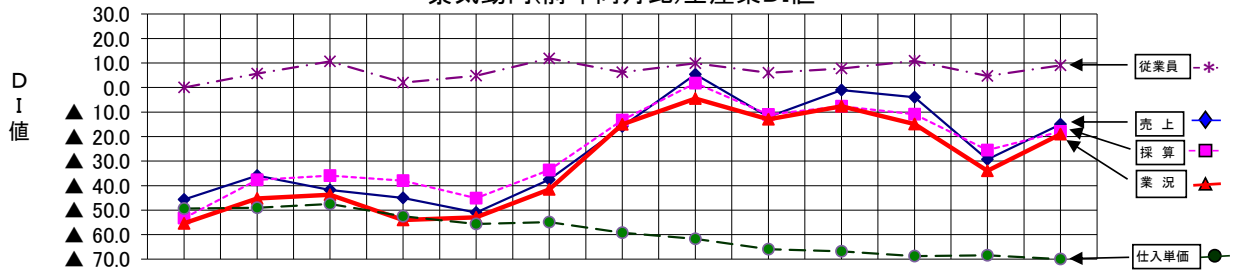
### 景況判断指数は好転するも低水準で推移 原材料高騰の影響が根深いが、一部で持ち直しの動きも

業況判断を示すDI値は、売上・採算・業況DIで3か月ぶりに改善に転じた。緊急事態宣言や県の特別警報解除の影響もあったものと思われるが、依然として低水準である。先行き見通しも売上・業況で改善しているものの、仕入単価DIは12.0ポイント悪化している。

引き続き原材料の高騰の影響が大きいことを指摘するコメントが多い反面、一部ではあるが、徐々に売上や利益が持ち直し、需要が戻ってきている状況も窺える。

このまま新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、消費マインドが改善し、経済好転への軌道が描けることを期待する。

景気動向(前年同月比)全産業DI値



## 【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2020年10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	2021年10月
売上	▲ 45.7	▲ 35.9	▲ 41.8	▲ 45.0	▲ 51.0	▲ 37.6	▲ 15.9	5.4	▲ 12.0	▲ 1.0	▲ 4.0	▲ 29.3	▲ 15.0
採算	▲ 53.3	▲ 37.7	▲ 35.9	▲ 38.0	▲ 45.2	▲ 33.7	▲ 13.3	1.8	▲ 11.0	▲ 7.7	▲ 10.9	▲ 25.5	▲ 18.0
業況	▲ 55.4	▲ 45.3	▲ 43.7	▲ 54.0	▲ 52.9	▲ 41.6	▲ 15.0	▲ 4.5	▲ 13.0	▲ 7.7	▲ 14.9	▲ 34.0	▲ 19.0
仕入単価	▲ 49.4	▲ 49.0	▲ 47.5	▲ 52.5	▲ 55.7	▲ 54.9	▲ 59.2	▲ 61.7	▲ 66.0	▲ 66.8	▲ 68.8	▲ 68.4	▲ 70.0
従業員	0.0	5.7	10.7	2.0	4.8	11.9	6.2	9.9	6.0	7.7	10.9	4.7	9.0

- ・プラス幅が増加したDI値：従業員4.3ポイント（人手不足局面へ）
- ・マイナス幅が減少したDI値：売上14.3ポイント、採算7.5ポイント、業況15.0ポイント
- ・マイナス幅が増加したDI値：仕入単価▲1.6ポイント

## 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
8月	0.0	▲ 6.9	▲ 5.0	▲ 36.6	8.9
9月	▲ 12.3	▲ 17.0	▲ 20.8	▲ 34.0	11.3
10月	1.0	▲ 17.0	▲ 11.0	▲ 46.0	15.0

- ・見通しが改善したDI値：売上13.3ポイント、業況9.8ポイント
- ・見通しが悪化したDI値：仕入単価▲12.0ポイント、従業員3.7ポイント（人手不足局面へ）
- ・見通しに変動がない項目：採算

## 【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	管工事業	ガソリンや石油製品の値上げの影響で仕入価格の高騰が懸念される。
	ガス設備	昨年に比べ受注状況も上向きだが、新型コロナの影響で海外生産による器具の納品遅れが出てきている。
製造業	鋼材	原材料高騰の影響を受注工事に転嫁できず、採算が悪化する可能性がある。
	板金・溶接	去年より好転しているが、材料費高騰により採算に影響が出てくるだろう。
卸売業	建設資材	2年前、3年前との比較では同等の利益は確保できている。
	青果	外食需要も徐々に回復が期待されるが、コロナ前の状況に戻るにはまだ時間がかかる。
小売業	生花	ブライダル向け需要が高まってきた。ハロウィーンに向け秋らしい商材の販売が増える見込み。
サービス業	外食	今年は、Go to Eatの販売が終了しており、昨年より売上の伸びが期待できない。
	看板業	ウッドショックや原材料の高騰の影響がじわじわと出てきている。早急に対策を練る必要がある。
運輸業	運輸	原油価格の高止まりによる影響が長期化しており、今後の動向を注視している。